

行程 8月22日(金)

START



土石流被災家屋保存公園(30分)
9:30



銅版画
『セレリアの聖母』
(ありえコレジヨホール)
(20分)
10:40




吉利支丹墓碑
(20分)
10:45





西望記念館(40分)
※原城についての紙芝居あり 13:50




日野江城跡(30分)
13:10



鮎帰りの滝
(昼食を含む)
11:20
(90分)
12:50発





南蛮船来航の地(15分)
14:45




あこう群落(10分)
15:05



親孝行の
いい話です
安永安治碑
(15分)
15:25



GOAL

今後のスケジュール お楽しみにご期待下さい！

●もっと南島原ツアー 第2弾 南島原博物館巡り《9月21日(日)予定》 第3弾 ジオツアー《10月26日(日)予定》

夏休み もっと南島原ツアー ふるさと発見親子ツアー2

8/22(金)
PART 2



知っているようで知らない私たちが住む南島原のこと。

先日行った『夏休みふるさと発見親子ツアー パート1』も好評に終わり、今回も前回よりパワーアップして、暑さも吹き飛ばす『夏休みふるさと発見親子ツアー パート2』を開催します。

多くの皆さんの参加をお待ちしています!!

- 開催日：8月22日(金)
※雨天決行(荒天の場合は中止)
- 参加資格：親子または友達同士での参加
※友達同士で参加する場合は保護者の承諾を得てください
- 募集定員：先着50名
- 参加料：無料
- 持参品：弁当、飲み物、タオル
※弁当を準備できない場合は1個500円で注文します(要予約)
- 申込方法：①名前 ②住所 ③電話番号
④集合場所 ⑤弁当注文の有無を
電話・FAXまたはEメールで申し込みください
- 申込締切：8月15日(金) 17:00まで

●集合場所・時間 ※集合後はバスにて送迎し、専門ガイドが案内します

地区	集合場所	出発時間	到着時間
加津佐	前浜海水浴場(交番前)	8:00	15:45
口之津	口之津庁舎前駐車場	8:10	15:55
南有馬	南有馬庁舎	8:25	16:10
北有馬	北有馬保健センター	8:35	16:20
西有家	西有家庁舎	8:45	16:30
有家	有家庁舎	8:50	16:35
布津	世紀の泉	9:05	16:50
深江	深江庁舎	9:15	17:00

申し込み・お問い合わせ

企画振興部 商工観光課 観光振興班 ☎050(3381)5032
FAX0957 (82) 3086 E-mail: kankou@city.minamishimabara.lg.jp

～あなたもボランティアガイドに～ 「ジオパークガイド養成講座」

島原半島の魅力を紹介するボランティアガイドになりませんか？ボランティアに興味のある人、郷土の地質遺産、自然、歴史、文化といった幅広い分野に興味がある人を対象に、「島原半島ジオパークガイド養成講座」を行います。

- 実施時期 平成20年9月～平成21年3月(月1回)
- 定員 南島原市、島原市、雲仙市で各15人程度
- 参加費 無料
- 募集期間 8月29日(金)までにお申し込みください
- 申込方法 先着順で受け付けます。希望の会場(南島原市、島原市、雲仙市)、氏名、住所、電話番号をお知らせください
- 講座形式 座学 3回 平日夜間 19:30～21:00
野外巡検 4回 土曜終日 9:00～16:00

回	講座テーマ	形式	開催日	講座会場
第1回	ジオパークの概要と地球の基礎知識	座学	9月24日(水)	ありえコレジヨホール
第2回	島原半島の動植物について(仮称)	野外	10月18日(土)	雲仙岳災害記念館
第3回	ジオサイトの現地研修①	野外	11月1日(土)	雲仙岳災害記念館
第4回	島原半島の歴史	野外	12月20日(土)	雲仙岳災害記念館
第5回	火山と災害	座学	1月21日(水)	ありえコレジヨホール
第6回	火山灰が語るもの	座学	2月25日(水)	ありえコレジヨホール
第7回	ジオサイトの現地研修②	野外・総括	3月14日(土)	雲仙岳災害記念館



※座学は同じテーマで島原市、雲仙市でも別の日に行います。

申し込み・お問い合わせ

島原半島ジオパーク推進連絡協議会 ☎0957(65)5540 FAX0957(65)5542
〒855-0879 島原市平成町1-1(雲仙岳災害記念館内)

6月22日(日)から26日(木)の間、ドイツのオスナブリュックで第3回世界ジオパーク国際会議が開催されました。島原半島を代表して島原市長が出席し、島原半島の魅力をPRする発表を行いました。この会議は、36カ国から323人の参加があり、新しくジオパークを目指している日本の島原半島、糸魚川地域、洞爺湖周辺地域、山陰海岸の4カ所を含む36の地域が、美しいスライドを使って、それぞれの取り組みを紹介しました。

島原半島は、火山活動という自然現象と人間の生活が共存する新しいタイプのジオパークとして、世界の人々から高い関心を持ってもらえたようです。今回の会議の最後に出されたオスナブリュック宣言の中では、「ジオパークは、地質災害も紹介する」という一文が加えられています。これは、地質そのものばかりではなく、災害についてもジオパークで紹介していくというジオパークの新たな取り組みとして明示されたものです。



島原半島の取り組みに対し、ジオパーク仕掛けの一人であるミュンヘン大学のエダーさん(国際惑星地球年IYPE担当・元UNESCO地球科学部長)からは、「火山活動だけでなく、文化や地域住民の生活、四季の変化などが関連してジオパークとして発展することを期待する」とのコメントをいただきました。

世界ジオパーク認定を目指して!! ③
●世界へ島原半島ジオパークをPR



石少造形波に負けずに造り出す私のうでの
見せどころ
大野木環子 学校 名前 シロ田 佳奈

うまいカレーみんなで作ってはいおが
大野木環子 学校 名前 望里 せいは

